

WEB開催

広島市立大学 広島平和研究所 連続市民講座

平和文化を 育むために



広島市立大学広島平和研究所は連続市民講座を下記のとおり開催いたします。
今年度の連続市民講座では、平和の理論や戦争と和解の歴史、平和思想、次世代に向けた平和教育、平和に関する政策的な取り組みなどの視点から、平和を育む文化について考えます。

講義は毎回オンラインで開催されます。各回の内容、申込方法をご覧くださいの上、是非お申し込みください。

2022年11月18日～12月20日(全5回)

毎週金曜日より5日間限定配信

定員: **500**名(要事前予約)

受講料: **無料**

各回の講義時間: 約**60**分

※ライブ配信ではありません。申し込みをされた方は、各回、5日間限定で講義を視聴できます。

申込締切: 2022年11月11日(金)

11/18

「平和研究と平和文化」

大芝 亮 (広島平和研究所長・特任教授)

11/25

「憎しみとゆるし —— 広島とマニラの戦後から」

永井 均 (広島平和研究所教授)

12/2

「平和思想と文化 —— ドイツの事例から」

竹本 真希子 (広島平和研究所准教授)

12/9

「『核兵器禁止条約の時代』の平和・軍縮教育」

中村 桂子 (長崎大学核兵器廃絶研究センター准教授)

12/16

「平和首長会議と平和文化」

小泉 崇 (広島平和文化センター理事長・
平和首長会議事務総長)

※申込方法など、詳しくは裏面をご覧ください。

■後援: 広島市 / 広島平和文化センター



「平和研究と平和文化」

11/18



11/22

大芝 亮

(広島平和研究所長・特任教授)

ロシアによるウクライナ侵攻を目の当たりにして、あらためて平和とは何か、平和を築くためにいかなる努力がなされてきたのか、平和文化を育むことは平和にどのように寄与できるのか、という問題を考えさせられています。本講義では、これらについて、平和研究におけるヨハン・ガルトウングの理論等を参考に考察します。

「憎しみとゆるし —— 広島とマニラの戦後から」

11/25



11/29

永井 均

(広島平和研究所教授)

第二次世界大戦では世界各地が焦土と化し、膨大な人命が失われ、多くの憎しみが生まれました。憎しみは敵意を増幅させ、平和への道を阻害します。本講義では、1945年2月に始まったマニラ市街戦と、それから半年後の広島への原爆投下を取り上げ、そこから生じた憎しみと、それを乗り越えようとした人々の思いを紹介します。

「平和思想と文化 —— ドイツの事例から」

12/2



12/6

竹本 真希子

(広島平和研究所准教授)

二度の世界大戦を経たドイツでは、新聞や雑誌、書籍などを通して、戦争と平和に関する議論が活発に行われてきました。本講義ではこうした20世紀ドイツの文化から平和思想の歴史を具体的に追い、ドイツにおける平和と文化の関係と平和思想の特徴、そして日本との違いについて考えていきます。

「『核兵器禁止条約の時代』の平和・軍縮教育」

12/9



12/13

中村 桂子

(長崎大学核兵器廃絶研究センター准教授)

2021年1月に発効した核兵器禁止条約は、軍縮条約として初めて、教育の重要性を明記しました。条約が目指す世界の実現に向けて、平和・軍縮教育はどのような役割を果たせるでしょうか。また、そのために広島・長崎の被爆地が貢献できることは何でしょうか。平和・軍縮教育の現在を概観し、これからの課題を考えます。

「平和首長会議と平和文化」

12/16



12/20

小泉 崇

(広島平和文化センター理事長・平和首長会議事務総長)

平和首長会議は、昨年7月に「持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン」を新たに策定しました。それまでの「核兵器のない世界の実現」及び「安全で活力のある都市の実現」の二本柱に、「平和文化の醸成」を新たな目標に加えたのです。それでは「平和文化」とは何か、何を指すものか共に考えましょう。

申込方法

二次元コードまたは下記のURLの「申込フォーム」に必要事項を入力してください。

forms.office.com/r/1Kh9vwAKgV

申込締切：2022年11月11日(金)

申込の際は、パソコンからのメール (@m.hiroshima-cu.ac.jp) を受け取れるよう設定してください。

お問い合わせ先

広島市立大学 広島平和研究所

E-mail: office-peace@m.hiroshima-cu.ac.jp TEL: 082-830-1811 FAX: 082-830-1812

